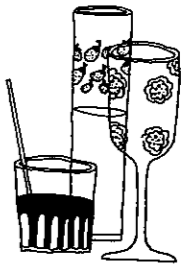


市民談話室



私のおもいで自慢

いまも変わらぬ田園風景に一層愛着が

樋口代志枝さん
(能登・主婦・32歳)

ふるさとを語ることは、そこに住む両親を語ることにまつながると思ふのは、私だけでしょうか。

貧しいなかを、せめて人並みに育ててくれた温かい両親の住む私のふるさは、電鉄六分駅のすぐ近くです。川面に写る両郡橋の姿は、今も変わらぬく普通の田舎です。

幼いころ遊んだ土手や原っぱは、いまもそのまま、相変わらず草と土のおいが入り混じり、都会風はまだ荒れることのない風情があります。両郡橋から見渡せる踏切のある坂は、絵になる風景です。田園風景のなかで、ここだけが活気にあふれ、それが不思議と回りに合っているように思ふ。

六歳のころに戻れそうで、一層愛着を感じています。日進月歩、変り行くなかで、そこに住む人と私を覚えていてくれる人のいるかぎり、私の心のなかでのふるさは、変わることはないと思っています。

加茂山公園に近くまつりの多いまち

大矢京子さん
(根岸・主婦・28歳)

私のふるさは加茂市です。加茂山公園が近く、山には雪が一面に咲いています。まつりの多いまちで、四月には雪まつり、五月は加茂まつり(うばまつり)、六月には笹だんごまつりといって、八幡様のまつりで、笹だんごを作って祝います。

私の学生時代には、水害に三回合いました。三階の窓から、目の前に家が流されて来ているのを見たこともありましたが、とても住みごこちのいいまちでした。

三條男と加茂女と、よく言い交わります。みなさんの意見交換の場がこの市民談話室です。いくつかあげた来月のテーマの中から一つ選んで、あなたの意見をお寄せください。また新しいテーマを提案していただいても結構です。薄謝をさしあげます。ページの都合で、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二三五 白根市役所企画財政課広報係。来月分の締め切りは、九月三十日です。お早目に郵便ポストへ。

思い出多き樺太へぜひ行ってみたい

石沢 隆さん
(下赤浜・会社社長・47歳)

私は三十六年前の樺太引揚者です。当時、私は六年生で十二歳でした。昭和二十年八月十五日終戦のため、母と妹第四人で八月十八日、樺太豊原駅を出発。八月二十三日十三時三十分ころ新津駅に着きました。私は毎年八月二十三日になると記念すべき日として思い出します。そんなことからベンを取りました。

四人はリックサックをかき、長靴をばき、新津駅のホームにぼう然と立ち、母も私たちが初めて内地の土を踏みました。あの日は三十度を超す暑い日でした。大郷村赤波に行くには八キロ口にはあると、駅員さんに聞かされ、父の生まれ故郷へ歩いていきました。

父は樺太に残され、二十二年十月に引き揚げて帰ってくるまで、知人宅にお世話になりました。母も知らない土地に来て、商いをしながら苦勞して私たちが

暮らしの見直し

桜井賢さん
(庄瀬・住職・64歳)

先生は望遠鏡を見ながら、メガホンをもって見張り、十五分間で貝を取るスリル...「潮が満ちて来たぞ、早く上がれ」と号令すると、百先から白波をたてて満ちてくる自然の力...懐かしい思い出の一つです。

冠婚葬祭も、年を追うごとに派手になり、結婚も葬式も金をかけて料理店でやることを誇りとしていたようです。葬式にならなくとも葬儀とは別れを惜しむことなので、それにふさわしい物が飾られるべきで、喪主にその代価を香典として出すことが、一番ありがたいことになると思っています。葬儀には、礼儀、報恩、感謝、親和の精神を各自が自覚して参列することが大切だと思います。

葬儀は別れを惜しむにふさわしいかたちで暮らしの見直し。お年寄りとともに楽しく過ごす家庭や、今、生きがいを感じている人などを紹介してください。また、あなたの老人福祉に対する考えもお聞かせください。

来月以降のテーマ

国際障害者年に思う
一九八一年は国際障害者年。心身に障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるより良い社会づくりをしようとする年。「国際障害者年」にあたって、みんなが考えましよう。

私のおもいで自慢
あなたの思い出深い、自慢のふるさとを教えてください。ふるさとを白根でも、もっと身近な地域にしよう。ふるさとを白根でも、もっと身近な地域にしよう。ふるさとを白根でも、もっと身近な地域にしよう。

地域生活センターに期待
みんなで作るコミュニティの拠点として、毎年一館ずつ地域生活センターを整備してきています。有効的な活用の仕方を見込んで考えてみましょう。

お年寄りに愛の手を
お年寄りとともに楽しく過ごす家庭や、今、生きがいを感じている人などを紹介してください。また、あなたの老人福祉に対する考えもお聞かせください。

まちの話題

茨首根小学校が完成し喜びあふれる竣工式



昭和五十五年度から二か年間で工事を進めてきた茨首根小学校の改築工事は、このほど完成。二期からは新校舎で授業ができることあって、喜びいっぱい。九月三日には、地区民総出で待望の竣工式が行われました。

元気なこしかついで四ツ興野保育園まつり



九月一日、四ツ興野保育園で、園児が二つのみこしをかついで、町内を元気に走りまわりました。イキなハッピー姿で「ワッショイ、ワッショイ」のかけ声に、沿道の市民も拍手を送っていました。

『愛は地球を救う』募金白根でも善意集まる



日本テレビの「愛は地球を救う」二十四時間テレビは、全国各地で愛の募金活動が行われました。白根市でも、白根ソシアル・サークルと六ツ星会が、この趣旨に賛同して、八月二十三日、ライオンロード前で、募金活動を行いました。テレビで報道されているだけあって、市民の関心は高く、温かい善意がたくさん寄せられました。

県公民館大会で岡村睦栄さんが受賞

八月二十一日、三條市で開かれた県公民館大会で、県公民館連合会から、長年公民館活動に協力された功績により、市内から次の五人のみなさんが表彰されました。(敬称略)

- 岡村睦栄(西笠巻) 真保達三(庄瀬上町) 渋谷チイ(下山崎) 武藤良弘(中鷲の木) 斉藤義弘(引越)

善意をありがとう

- ▽茨首根小学校へ 北陸開発(株)：グラントピアノ1台 栗田弘さん(下茨)：図書机6脚、図書椅子14脚、図書購入費50万円 里見義哉さん(上茨)：電子オルガン1台 五十嵐仁一郎さん(新村)：美濃川 昭さん(清水)：松田栄一さん(東萱場)：校長室用折りたたみ椅子5脚 校長室用折りたたみ椅子5脚 沙和流：折りたたみ椅子35脚 武田薬局：校舎案内板1面

九月十五日は『敬老の日』

九月十五日は「敬老の日」。この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで長年にわたって社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今日まで培ってきた知識と経験を、今後社会に役立てていただきたいものです。こうしたことが、お年寄りの生きがいになると同時に、世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないで

しょうか。老人に生きがいのある社会を、ともに築いていきたいものです。

市内には六十歳以上のお年寄りが五千五百三十五人います。この数字は市内人口の一六・四%にあたります。

このようなお年寄りの生活を守るため、市では老人医療費の無料、家庭奉仕員の派遣などの事業を行っています。詳しくは福祉事務所老人福祉係(☎011-22501)へ。

スポーツ情報

- 県青年大会 (8月22・23日・小出町ほか) 【柔道】(団体)▽優勝(個人)軽量級▽優勝 田村富士夫(松橋) (個人・重量級)▽優勝 金子真司(魚町) 【剣道】(団体三位)(個人)▽二位 近藤博(中山) 【卓球】(団体)二位
- この結果、柔道団体は全国大会(十一月・東京)に出場します。
- 下越スポーツ少年団大会 (7月5日・白根高ほか) 【柔道】(年少)▽優勝 白根 柔道教室A (年長)▽優勝 根岸スポーツ少年団 【剣道】(小学五・六年)▽二位 白根少年剣士会スポーツ少年団
- 佐々木信也杯中学生野球大会 (8月26日・白根第一中)▽優勝 白根一中B ▽二位 白根一中A ▽三位 庄瀬中、大鷲中
- 市少年野球親善大会 (8月30日・白根第中は少)▽優勝 鷲巻コンドルズ ▽二位 白根6A ▽三位 白根6B、新飯田スパーナイン
- チビっ子相撲大会 (8月30日・白根小一位のみ) 【団体】白根小B 【個人】▽二年 高野将行(白根小) ▽二年 小川晃(白根小) ▽三年 横山哲志(鷲巻小) ▽四年 梅沢真也(白根小) ▽五年 小熊秀和(白根小) ▽六年 山岡由幸(白根小)

国際障害者年 完全参加と平等

長寿番付

9月5日現在満91歳以上・同年齢の人は生年月日順です。

東				西						
横綱	石口	アキ	97	四ツ興野	横綱	大那	吉蔵	96	魚	町
大関	吉田	マチ	95	上大郷	大関	風間	広吉	95	柳	筋
関脇	横山	三吉	94	笠登	小結	西潟	ハツ	93	東	町
小結	野沢市治郎	92	神	屋	前頭1	高橋	ミテ	92	戸	頭
前頭1	山川	七蔵	92	砂	押	同2	猪股清次郎	92	五六の町	
同2	金子	ハル	92	戸	頭	同3	長谷川	ミズノ	92	高井興野
同3	和貝	クノ	91	三	の町	同4	小池	キク	91	大鷲新田
同4	五十嵐久次	91	西	酒屋	同5	桜井	シン	91	庄瀬下町	
同5	本田	精一	91	魚	町	同6	樋口	ヨシ	91	高井興野
同6	佐藤	ヤス	91	能	登	同6	渡辺	ミセ	91	上赤